



自然ふれあい教室
野鳥の巣箱つけ

主な
内容

■ 小池市長市政報告 ・平成16年度施政方針	20
■ 教員講座受講生募集	12
■ 歯の健康「口臭対策」	13
■ カメラスケッチ	18
■ 加茂の風土記	14

市政報告

加茂市長 小池 清彦

極端な地方切り捨ての暗黒時代を
悠々と乗り切る予算

平成十六年度の施政方針について

三月十日、市議会で御説明いたしました施政方針の全文を御報告申し上げます。

現在、市議会において、御審議いただいている平成十六年度の予算案の重要事項は、この施政方針で御説明してございますが、詳しい内容につきましては、別冊の「平成十六年度当初予算（案）概要」をご覧くださいいただきたいと思っております。

平成十六年度の施政方針（全文）

平成十六年度の施政方針について、御説明申し上げます。

（これまでの回顧）

平成七年五月、「加茂市に大きな夢と新しい風を」

お気軽においでください

市民と市長の「よもやま話」の日

4月6日（火）午後1時30分から行います。

20日（火）時間等については御相談ください。

【受付・問い合わせ】

市役所3階 総務課広報広聴係

☎52-10080 内線323

までお願いします

「民主的市政と福祉と繁栄を」の願いを込めて、十二項目の公約を掲げて市長に就任させていただきました以来九年間が過ぎました。

昨平成十五年四月、市民の皆様の御信任をいただき、三期目の市長に就任させていただきました。心から感謝いたしております。改めまして、至らぬ身ではございますが、何卒よろしく御指導、御鞭撻くださいますようお願い申し上げます。この間、市民の皆様方の温かい御指導と御支援の下、市議会議員の皆様方の力強い御指導と御支援を賜りながら相共に手を携えて、市政を推進してまいりました。ここに、改めまして市民の皆様方お一人おひとりと市議会議員の皆様方お一人おひとりに対しまして、厚い感謝の思いを込めて、心から御礼申し上げます。また、職員各位の御協力と御尽力に対しましても、心から感謝の意を表するもの

であります。

今日までの九年間、私は、ひたすら市民の皆様方お一人おひとりのおっしゃることをよくお聞きして、その御指導に従い、市民の皆様方お一人おひとりを大切に、最高にお幸せにすることを根本として、市政を推進してまいりました。私がこれまでに推進させていただきました市政は、ほとんどすべて市民の皆様方からいただいたアイデアに基づくものでございます。市民の皆様方からいただきましたアイデアは、いずれも現実の生活の中から生まれた、この上なくすばらしいものであり、民主主義の偉大さに感動する日々でございました。こうしたお陰により、加茂市は日本のトップクラスの福祉のまちとなり、日本で最も商工業と農業が守られているまちとなり、日本で最も自然環境が保護されているまちとなりました。待望の加茂信濃川大橋も、順調に建設が進み、昨年度までに橋脚八基の予算が認められております。温水プールもオープンし、優れたコーチをお招きしてスイミングスクールも開催されております。冬鳥越スキー場も加茂市営となり、日の出荘ロッジ・ウェーデルンやTバーリフトも完成し、芝生や遊歩道も整備され、冬鳥越スキーガーデンとして一年中お楽しみいただける洋式庭園となりました。新潟県最古の電車モハ一の復元もなされ、近隣最大規模の二千五百本のバラ園もオープンいたしました。温泉も湧出し、温泉施設「加茂美人の湯」は、現在

大盛況であります。市民の皆様のお力により、市議会の皆様とがっちりと手を携えて、加茂病院も守り抜くことができしました。百七十床の病床は全く減らされることなく、平山知事さんの御英断により、かえって十床増えて、百五十床の一般病床に加えて三十床の療養病床がオープンいたしました。

（小泉総理による極端な地方切り捨ての暗黒時代を悠々と乗り切る予算

福祉、産業支援、諸団体等に対する補助金等の予算は、一切削減しない

ただし、国民健康保険税だけは、最小限の値上げをせざるを得ない）

さて、ここまですべての加茂市でございますが、小泉内閣が出現してからの二年間に県も各市町村も、地方交付税のうち、自由に使える分を大幅に削減され、貯金を食わなければ、予算編成ができない状況に追い込まれていたのでございました。

ところが、平成十六年度予算において小泉総理は、さらに地方交付税を一二％カットするという暴挙に出たのであります。これによって、県も、各市町村も、予算の大部分を占める人件費、光熱水費、学校管理費、庁舎管理費等の義務的な経費さえ賄えない状況となり、

さらに貯金を大幅に取り崩さなければ予算が組めない状況に立ち至ったのであります。

その結果、貯金がなくなつた市町村から倒産して、財政再建団体になっていくというひどい事態となっております。

これから市町村合併を行おうとする市町村は、このたび交付税を一二％削減された水準から、さらにその何倍も（場合によってはその十倍も）交付税を削減されるのですから、誠に「泣き面にハチ」の状況であります。

これは、もはや政治ではありません。地方と地方自治体を壊滅させ、地方の民主主義と地方分権を破壊する行為であります。

小泉内閣は、やってはならないこと、即ち、基準財政需要額の大幅な削減を行ったのであります。

加茂市に例をとれば、平成十五年度から十六年度までの一カ年で基準財政需要額は六十八億八千八百万円から六十三億九千五百万円へ四億九千三百万円も減らされ、標準財政規模は、七十七億六百万円から七十二億三百万円へ五億三百万円も減らされたのであります。

加茂市が自由にできる金は、小泉内閣の二年間に三億二千万円も減らされましたが、十六年度は、少なくとも三億三千万円は減らされ、合わせて一億七億円と見積もつてよろしいかと思ひます。この七億円は、市職員の人件費百人分に相当する法外な金額なのであり

ます。

なお、普通交付税と臨時財政対策債を加えた実質的な普通交付税は、十五年度決算ベースの四十三億四千万円から十六年度予算額三十八億八千二百万円へ四億六千二百万円も減らされております。これに特別交付税の減少予測額三千万円と五千万円が加わります。こうした中で加茂市は、やむを得ず、極めて好ましくない大幅な経費削減を行いながら、福祉、産業支援、諸団体等に対する補助金等、市民の皆様と直接関係する予算は一切削減せず、市政の高い水準を堅持することができました。

しかし、医療費の増大に対応するため、国民健康保険税だけは、値上げせざるを得ないこととなりました。一人当たり約一五％の値上げをお願いしております。世帯主、奥様、子供さんの三人家族の世帯で、年間約三万円（六割軽減の世帯は約一万二千元、四割軽減の世帯は約一万八千元）の値上げになります。

その結果、加茂市の一人当たり国保税は、県内二十市中十六位であったのが、十三位以下にとどまりますので、依然として低い水準を維持することになります。何卒よろしく御理解くださいますよう、お願い申し上げます。

さて、平成十六年度当初における貯金的基金等の総額は、十五億七千六百万円ですが、十六年度当初予算案では、必死に経費削減を行つてなお、約三億七千六

百万円が食われることになっております。あとは、十六年度の経費執行において、現実を見ながら懸命に節約を行い、貯金が目減りするのを最小限にとどめたいと思っております。そして精一杯持ちこたえながら、小泉内閣の退陣と立派な内閣の登場を待ちたいと思っております。平成十六年度予算は、一言で言えば「極端な地方切り捨ての暗黒時代を悠々と乗り切る予算」であります。

(第三平成園の用地を取得)

なお、平成十六年度には、その直前の十五年度末に、第三平成園の用地として、神明町一丁目の興国鋼線索(株)の工場の跡地を土地開発基金で購入させていただきたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

(県内最多の新潟国体体操強化選手を

擁する加茂市として、体操練習施設

の建設を目ざす)

次に、来る二〇〇九年の新潟国体に向けて、本県の体操競技の強化選手が十二人指定された中に加茂体操クラブから六人の方が入っておられることに鑑み、国・県と相談しながら、このたび創設された地域再生事業債を利用する等の方法を捜しながら、ピットを有する体操練習施設の建設を目ざしたいと思っております。

(平成十六年度市政推進の基本)

そして、市民中心の真の民主的市政をさらに推進し、これまでに到達した市政の高い水準をさらに高め、充実させてまいりたいと思っております。

原則として、毎週木曜日の午後開いております「市民と市長の『よもやま話』の日」には、本年一月末までに延べ七百十八組、延べ千五百七十五人の方々がいになり、本当に感謝しております。本年度も市民の皆様方のお越しを心からお待ち申し上げます。

また、地元選出の衆参両院議員、県議会議員並びに市議会議員の皆様方の御支援も仰ぎながら、国・県と太いパイプを結んで、多くの重要政策を実現してまいりたいと思っております。

平成七年十二月、加茂市は「非核平和都市」を宣言いたしました。今年度も、日本国憲法の平和主義の旗を高く掲げて前進いたしたいと思っております。

(平成十六年度予算の総額)

さて、平成十六年度当初の一般会計予算総額は、百四十億二千万円で、対前年四・七%の増額でございます(十五年度は、百三十三億九千七百万円)。しかし、実質は、マイナスの予算であって、特殊要因の借換債四億六千八百万円、市民福祉交流センター「加茂美人

の湯」特別会計から一般会計への振替二億一千四百万円、若宮公園関連の減債基金積立金八千七百万円の合計七億六千九百万円を除いた予算額は百三十二億五千百万円で対前年一・一％の減額でございます。

また、一般会計と各特別会計の予算額を単純に合計した額は、二百三十九億三千六百万円で、対前年〇・二％の増額でございます（十五年度は、二百三十八億八千五百万円）。

なお、市民福祉交流センター「加茂美人の湯」特別会計につきましては、一般会計にしないと消費税が課税されることとなりますので、十六年度から一般会計とすることといたしました。

（予算の基本的編成方針）

平成十六年度当初予算案の基本的な編成方針は、次のとおりであります。

- 1 市制施行五十周年を簡素かつ有意義に祝賀する。
- 2 小泉内閣による法外な地方交付税の削減により、県も市町村も、まともな予算編成ができず、貯金を大量に食いつぶす中で、加茂市はやむを得ず極めて好ましくない大幅な経費削減を行いつつ、しかし、福祉、産業支援、諸団体等に対する補助金等、市民の皆様に直接関係する予算は、一切削減しない。
- 3 ただし、医療費の増大に対応するため、国民健康

保険税だけは値上げせざるを得ない。しかし、県下二十市の中で十三位以下という低い順位は堅持する。

4 日本一の福祉と児童福祉のまちを堅持する。

5 日本一工業が守られているまちを堅持する。

6 日本一農業が守られているまちを堅持する。

7 日本一自然環境が守られているまちを堅持する。

8 日本一の健康のまちを旨す。

9 充実した小中学校教育を行う。

10 理数科学・人文科学面の教育に力を入れるとともに、「心の教育」を重視する。

11 特別養護老人ホーム「第三平成園」の用地を取得する。（平成十五年度末取得予定）

12 二〇〇九年の新潟国体体操強化選手の半数を擁する加茂市として、体操練習施設の建設を旨す。

13 須田の広域農道は、延長する方向となったので、早期着工を旨す。

14 盛況の温泉施設「加茂美人の湯」を豊かに運営する。

15 順調に進捗している加茂信濃川大橋の橋梁の建設を最大限に進める。

16 （旧）まるよし五番町の再開に全力を尽くす。

17 ホームヘルパー六十五人を堅持する。

18 県下二十市中最低の保育料を堅持する。

19 県下二十市中最低クラスの介護保険料を堅持する。

20 加茂市の奨学資金を十分に提供する。

- 21 市民バスの運行を十分に行う。
- 22 冬鳥越スキーガーデンを豊かに維持運営し、二千五百本のバラ園を充実し、菊花展も行う。
- 23 南銀座通りを拡幅する根古屋中央線については、十六年度に大通りから谷通りまでを十二メートル幅に拡幅する。
- 24 七谷の大谷に（仮称）二万年前旧石器公園を整備する。
- 25 国道四〇三号線バイパスの建設を着実に進める。
- 26 温水プールの優れたコーチによるスイミングスクールを発展させる。
- 27 療養型病床群を活用しつつ、加茂病院の充実を図る。
- 28 国の資金繰り円滑化借換保証制度をしっかりと支援する。
- 29 中小企業小口融資（二百万円無担保・無保証人）を堅持し、中小企業経営安定資金融資等を最大限に実施する。
- 30 商店街近代化事業は、五番町街区の事業を推進する。
- 31 加茂市と東京で、桐たんす・家具木工見本市を開催する。
- 32 下条と高柳の圃場整備を推進する。
- 33 下水道の整備は、財政が許す最大規模で推進する。
- 34 県下二十市中最低の水道料金を堅持する。
- 35 国・県の資金を大量に導入して、豊かな市政を運営する。
- 36 小林幸子さんの「雪椿」の歌碑を、さらに全国にPRする。
- 37 在宅介護料・看護料無料を堅持する。
- 38 施設介護待機者ゼロを極力堅持しつつ、第三平成園の建設を待つ。
- 39 デイサービスとショートステイを十分提供する。
- 40 乳幼児および妊産婦の医療費原則無料を堅持する。
- 41 女性が安心して子どもを生み育てることができるよう加茂市をつくるため、さらに前進する。
- 42 好評の五つのコミュニティセンターと、かも川荘、ゆきつばき荘、並びにいわゆる「百円風呂」を快適に運営する。
- 43 須田中央公園内の「憩いと遊びの広場」、上条の「乳幼児あそびの広場」の施設とともに快適に運営する。
- 44 知的障害者援護施設の構想について検討する。
- 45 私立保育園をしっかりと支援する。
- 46 児童館をしっかりと運営する。
- 47 チャイルドシート購入費二割補助を継続する。
- 48 公立保育園の園児バスを円滑に運営する。
- 49 六十五歳以上の方々の無料インフルエンザ予防接種を継続する。
- 50 時代の最先端を行く学校インターネットのシステム

- ムの活用を進め、さらなる充実を図る。
- 51 小中学校の給食のお米をすべて加茂産のコシヒカリとする制度を継続する。
- 52 スクールバスの運行に万全を期する。障害のあるお子様のためのスクールバスの運行にも万全を期する。
- 53 加茂西小学校の建替を常に念頭に置く。
- 54 育成会、スポーツ少年団をしっかりと支援する。
- 55 ボーイスカウトおよびガールスカウトを支援する。
- 56 文化および体育の充実を期する。
- 57 「加茂川ブルース」(美川憲一)が全国版になったので、さらに全国に広める。
- 58 新たな加茂市史の編さん作業を進める。今年度に資料編の初巻(古代・中世)を刊行する。
- 59 労働界と定期協議を行いながら、全力をあげて支援する。
- 60 消防の充実に努め、消防団員の皆様を高く処遇する。
- 61 二台の高規格救急車を有効に運行する。
- 62 小京都加茂市の自然の行き過ぎた破壊を防止する。
- 63 大改修した加茂市・田上町消防衛生組合のごみ焼却炉をしっかりと運営するとともに、ごみ問題には常に的確に対応する。
- 64 加茂市・田上町消防衛生組合の焼却炉の灰の処理場の近代化の第二期工事を推進する。
- 65 加茂川の中に生えている木を切る。
- 66 山にはびこってきた竹を除去する。
- 67 若宮公園を整備する。
- 68 加茂山公園、粟ヶ岳県民休養地、下条川ダム公園等を豊かに維持運営する。
- 69 下条川ダムの入漁料無料を継続し、加茂市の放流量二トンを維持し、日本有数のヘラブナ釣りの名所として大切にする。
- 70 加茂川漁協に対する支援に力を入れつつ、加茂川での鮎や鮭等特定の魚以外の入漁料を無料とし、子どもたちのサシ網漁も多くの場所で行える態勢を維持する。
- 71 小京都加茂市全体を憩いの場として整備する。
- 72 「小京都加茂のハイキングコース」を編さんしつつ、コースを整備する。
- 73 加茂美人の湯の運営にあわせて、粟ヶ岳登山を支援する。
- 74 市民農園の開設について検討する。
- 75 加茂市のパソコン化・インターネット化を推進する。
- 76 商工業を懸命に支援して、その繁栄を図る。
- 77 各業界を強力に支援する。
- 78 商店街を守り抜く。
- 79 マイホーム支援資金の金利一・八%を維持する。また、加茂市に本店を有する建築業者に発注した場

合の金利は一・四%とする。(いずれも固定金利)

80 無傷で存続させることができた株式会社日立ニコトランスミッション(旧倅新潟鐵工所加茂工場)と存続させることができた株式会社丸五技研並びにこれらの下請け・孫請け企業を支援する。

81 失業者の救済に全力を尽くし、やむを得ざる場合は、生活保護をもって、対応する。

82 「桐の苗を植え育てる運動」をさらに推進する。

83 三割を超える減反で未曾有の苦難の中にある加茂市農業を守るため、引き続き農機具購入費補助等の施策を推進する。補助率は、平成十五年度と同様とする。即ち、二〇%とするが、全く減反しなかった方は一五%とし、減反した率に応じて補助率を決めるものとする。

84 林道今滝冬鳥越線の整備に全力を尽くし、その他の林道の整備も着実に推進する。

85 加茂市の山にバイオテクノロジーによる、松くい虫に強い松を植える。

86 家畜堆肥処理施設の建設については、常に着手の機をうかがう。

87 廣圓寺裏の危険箇所の大規模改修工事を引き続き推進する。

88 大谷の県道出戸村松線の拡幅整備を引き続き推進する。

89 天神林上条線(若宮町〜長福寺間)の建設を促進

する。

90 八幡駒岡線をさらに上(かみ)へ向かって延長する。

91 黒水土倉線の急坂の改良工事を推進する。

92 下条地域内の県道天神林上条線は、拡幅できるところを拡幅する。

93 興国鋼線索跡地横の道路を拡幅する。

94 稲荷面横線の整備を進める。

95 大正川のJR線下拡幅工事を推進する。これにより上流の家屋の浸水の危険は解消する。

96 下水道の認可区域を、希望ヶ丘、川西、山島、須田工業団地等へ広げる。

97 上記のほか、市民の皆様方の御要望をすべて実現することを目標として、各般にわたり、積極的に施策を進める。ただし、極端な地方切り捨ての暗黒時代なので、今までよりは、時間がかかることもあると思われるが、全力を尽くす。

以上でございます。

(日本が平和で民主的で繁栄する国であり続けるのか。それとも、全体主義・ファシズム・軍国主義の国となって、没落の道をたどるのか。私達は重大な岐路に立つ。祖国日本と日本国民と加茂市民お一人おひとりの幸せをしつかりと守る)

小泉内閣が出現してから、その数々の誤れる政策により、日本は一挙に時代の転換点を迎えることとなりました。

「景気は回復しつつある」などと政府は言いますが、これは輸出産業が中国の経済発展のおこぼれにあずかっているものに過ぎず、政府は超緊縮財政政策と弱者切り捨て政策を続けたまま、自国の景気回復と経済発展を図る努力は何も致さず、特に地方を不況のどん底に突き落としたままであります。

さらに、市町村合併を強行しながら、地方へよこすお金を極端に減らすやり方は、地方の民主主義と地方分権を徹底的に破壊し、地方を完全に衰退させるものであります。

すでに国民は、議会制民主主義と自由主義経済・資本主義経済に対する信頼を失いつつあります。

全体主義・ファシズムへの動きは、確実に進行しつつあります。

さらに、この動きに拍車をかけているのがイラク出兵であります。

イラク戦争は、千数百年にわたるキリスト教徒とイスラム教徒のし烈な戦いの延長線上にあるものであり、その一環であります。また、近くは、イスラエルと、その建国によって住んでいた土地から追い出されたパレスチナ人との戦い、即ち、パレスチナ問題の延長線上にあるものであります。

即ち、イラク戦争は、日本及び日本人には関わりのないことなのであります。特にこのたびのイラク戦争は、ブッシュ米大統領とネオ・コンサヴァティブと称せられる人たちが起こした大義なき戦いであり、戦争の口実とされた大量破壊兵器は、存在しなかったのであります。

しかるにアメリカは、日本に「ブーツ・オン・ザ・グラウンド」即ち、イラクの地に軍隊を派遣せよと強要し、小泉総理はこれに従ったのであります。

単なる国際人道支援ならば、自衛隊が行く必要は全くないではありませんか。

このたびの自衛隊の派遣の目的は、国際貢献の美名の下における「アメリカに強要された対米貢献」であります。

特にイラク特措法は、自衛隊が行う活動として「人道復興支援活動」とともに、「安全確保支援活動」、即ち、米軍の戦闘の後方支援、即ち、その兵站・補給

を行うことを定めているのであります。戦闘の兵站・補給は、戦闘の最も重要な部分なのであります。

自衛隊の使命は、平和憲法の下に、わが国の平和と独立を守ること、即ち、祖国防衛であります。このたびのイラク出兵は武装した部隊をゲリラ戦場に投入するものであり、明確な憲法違反であります。

無用の出兵によって、国の宝である自衛隊員の命を危険にさらし、その家族を苦しめることは直ちにやめるべきであります。

ひとたび平和憲法が踏みにじられてしまった今後は、自衛隊は米軍の後について、世界のゲリラ戦場に派兵され続けることになりましょう。世界における戦争の多くは、ゲリラ戦なのであります。

その時には、犠牲者が出ますから、自衛隊に入ろうとする人はいなくなり、募集難となって、徴兵制が採用されるであろうことを、私は深く危惧するものであります。

このたびのイラク出兵を契機として、軍国主義的な風潮が全国に広がり、それが徴兵制と平和憲法の破壊へとつながり、再び日本人が海外で血を流し続ける時代が来ることを深く憂慮するものであります。

日本が平和で民主的で繁栄する国であり続けるのか。それとも、全体主義・ファシズム・軍国主義の国となつて、没落の道をたどるのか。いま私達は重大な岐路に立っているといえましょう。

今こそ私達は、断固として立ち上がって、祖国日本と日本国民を救い、加茂市民お一人おひとりのお幸せをしっかりと守るべきときであります。

いっしょに学びませんか

平成16年度 教養講座 受講生募集

講座名	講座日	
フラワーデザイン 講師 丸山 春江	月曜日	(20回) 午後7時～9時
よさこい 講師 新潟総踊り祭実行委員会	火曜日	(8回) 午後7時～9時
生け花(古流松藤会) 講師 安中美智子		(20回) 午後7時～9時
ゴルフ(初心者) 講師 坪谷 清	水曜日	(20回) 午後7時30分～9時30分
料理(初心者) 講師 坪谷 節子		(20回) 午後7時～9時
料理(一般) 講師 坪谷 節子	木曜日	(10回) 午後7時～9時
茶道(石州流) 講師 乾 スズイ		(20回) 午後7時～9時
お菓子作り 講師 皆川 栄子	金曜日	(10回) 午後7時～9時
民踊 講師 長谷川 サヨ		(10回) 午後7時～9時
着物着付け 講師 渡辺 和		(15回) 午後7時～9時
書道(毛筆・硬筆) 講師 伊藤 京子		(20回) 午後7時～9時
エアロビクス(初心者) 講師 神原 弘美	土曜日	(20回) 午後7時30分～8時30分
社交ダンス(初心者) 講師 萱森 トシ		(20回) 午後7時～9時
柳生新陰流剣道 講師 加茂市長 小池 清彦	第1・3水曜日 午後7時～9時	
太極拳 講師 加茂市長 小池 清彦	第2・4水曜日 午後7時～9時	

会場 勤労青少年ホーム
(ゴルフは加茂ゴルフセンター、エアロビクスは勤労者体育センター)

対象 どなたでも受講できます。青年、少年歓迎!!

受付開始 4月8日(木)から
※定員になり次第、受け付けを締め切ります。
※柳生新陰流剣道講座と太極拳講座は、随時受け付けをします。

受講料等 保険料+会費 年間1,000円(教材費は自己負担です)

問い合わせ・申し込み

勤労青少年ホーム(☎52-6116)へ。

※柳生新陰流剣道講座と太極拳講座についてのお問い合わせは、総務課秘書係
(☎52-0080 内線330)へ。



自然ふれあい教室
野鳥の巣箱つけ



2月21日、加茂山公園に野鳥の巣箱の取り付けと、観察会がありました。巣箱は昨年9月に作り、野鳥が入りやすいようにしていたものです。



口臭対策

「お口の臭いが、気になりませんか?」こんなコマシーヤルを見たことがある人は多いのではないのでしょうか。今回は、「口臭」についてお話しします。

口臭は「口腔内に住む微生物が作るガスと肺から出てきた臭気を含むガスとが混じって、呼吸によって排出されたもの」です。

口臭の発生には大きく分けて四つの原因があります。

1、生理的口臭

人間が誰でももっている臭いで、早朝時口臭、緊張時口臭、老人性口臭など

2、飲食時による口臭

飲酒によるアルコール臭や食後のニンニク臭など

3、病的口臭(他臭症)

病気が原因で起きる口臭

4、心因性口臭(自臭症)

他人は口臭とは感じていないのに、自分自身は口臭と感じて悩むもの

以上の四つに分類されています。このうち、生理的口臭と心因性口臭は、口腔内の清潔を心がけておけば、あまり気にすることはありません。飲食時による口臭は、何もしなくても時間が経って血中濃度が低下するとともに解決するものです。しかし、病的口臭は、治療が必要になります。

病的口臭は、歯周病や虫歯、口内炎が原因で起きることが多く、特に中等度重度の歯周病は明らかに原因疾患と断定されて

います。また、舌苔(舌の表面に付着する汚れ)も原因の一つです。

口臭をなくすには、これらの原因を「元から断つ」治療が必要です。

口臭対策で一番大切なことは歯周疾患の治療と歯垢(歯石)を取り除くこと(ブラークコントロール)がポイントになります。きちんとした治療と、正しいブラッシングでプラークコントロールをすれば、病的口臭はなくなりません。また、抜けた歯をそのまま放置していたり、合わない入れ歯をしていたりするのも、口臭の原因になります。

定期的に歯科医院で口の中をチェックしてもらい、正しいブラッシングの指導を受けて、いつも清潔なお口を心がけてください。

(加茂市歯科医師会)

市議会3月定例会

予算議会の三月定例会市議会は三月十日から二十六日までの会期日程で開かれています。

この議会で市長が提出した議案は、平成十六年度各会計予算をはじめ、条例の改正、財産の取得、人事など三十七件で、主な内容は次のとおりです。

平成十六年度各会計予算
平成十六年度の一般・特別会計と水道事業会計の各予算は、別冊「当初予算(案)概要」とおりです。

一般会計補正予算
今回三千二百十二万六千円を増額して、予算の総額を百三十五億四百五十七万四千円とするものです。

歳出の主な内容は、退職手当三千二百四十七万円、社会福祉事業基金積立金五千三百五十万円などの増額と、長期債利子償還金二千六百七十二万円、福祉施設運営建設特別基金積立金三千六百万円などの減額です。

老人保健特別会計補正予算
医療諸費など一億二千六十四万一千円を増額し、総額を三十三億八千六百二十三万四千円とするものです。

非常勤職員の報酬と費用弁償に

関する条例

公職選挙法の改正により、期日前投票制度の創設で期日前投票所の投票管理者と投票立会人の報酬を定める条例改正です。

国民健康保険条例

医療費の増大に対応するため医療費給付費のうち均等割額と平等割額の改定と、厚生労働省告示の改定により介護納付金課税被保険者の所得割額と均等割額の改定などの改正です。

財産の取得

特別養護老人ホーム「第三平成園」建設のため神明町一地区の用地一万一千五百平方メートルを一億五十万円で取得したいというものです。

公平委員の選任

三月末日で任期満了の加茂市、加茂市・田上町消防衛生組合公平委員会委員に古澤成二氏(神明町二・78歳)を再選任することに、議会の同意を求めます。

人権擁護委員候補者の推薦

三月末日で任期満了となる人権擁護委員の候補者に西村國一氏(千刈二・47歳)の再推薦について、議会の同意を求めます。

加茂の風土記

黒水からの殿様街道 長嶺道

「峠」いろいろな思いが広がる言葉である。江戸時代の加茂を通過する街道の「峠」には、大登峠や長嶺道が思い当たる。

ともにその道筋は、すでに正保二年（一六四五）の越後国絵図にも現れており、前者は村松から刈羽（村松町）を経て、花立松の山道を通り、上条の八幡に至る峠道である。後者は七谷の黒水から下田郷の曲谷村に至る道筋にあり、下条村絵図に見える。

村松藩領であった七谷郷。藩主が参勤交代で使用する道は、「殿様街道」と呼ばれ、三つの道筋があったという。

一、長嶺道は黒水から下田郷に至る道筋にあり、下条村絵図に見える。
二、大登峠は黒水から下田郷に至る道筋にあり、下条村絵図に見える。
三、花立松の山道は黒水から下田郷に至る道筋にあり、下条村絵図に見える。



早春の長嶺道、黒水方面を見る

寛政元年六月、幕府巡見使が長嶺道を通った時の覚え書き

長嶺道はそのうちの一つのルートで、宿籠ぎ場の黒水と鹿峠（下田村）とを結ぶ最短の峠道で「丹波線」とも呼ばれている。道筋は下上谷―長谷―黒水―上黒水―曲谷―鹿峠となっており、長嶺道は上黒水と曲谷の間にある峠道である。

この峠道は村松藩主の参勤交代をはじめ、幕府の役人や一般の旅人が通ってきた。

示した資料は、寛政元年（一七八九）の夏、幕府巡見使が黒水から下田を通る時の、下田の村役人が記した手控え帳の冒頭部分である。幕府巡見使は筑紫

従太郎・大久保長十郎・堀八郎右衛門の三人で、従う家臣は合わせて百十人余り、荷物などを持つ人足が九十人近くであった。一行はすでに加茂町を同年五月二十九日に通過したあと、新発田・新潟・村上を回って、六月十三日、村松町に泊まった後、見附に向かう翌日、この長嶺道を通っている。

資料は七谷郷と下田郷との境界でもあった長嶺で、下田側の村役人が一行を待ち受けていて、この峠から下田の村々を案内する時のものである。

それには、「長嶺七谷境よりご案内の趣、北に高館と申す城跡あり、少し西へ寄り、姫の城と申す城跡あり、東に当り粟嶽山あり、袴腰山あり」と、巡見使から尋ねられたら答えられるように、長嶺道から見える城跡の名前や山の名前などがあらかじめ記されている。

寛政元年から二百年余りたった今、この峠道を上黒水から登っていくと、その名の通り、長い嶺の道に赤松の並木が続いて、眺望は素晴らしく、粟ヶ岳や袴腰山が、また少し道を分け入ると、東の下条方向に姫ノ城山が見える。早春の今、ゆつたりと昔の殿様気分を味わってみてはいかがだろうか。

（関正平）

平成15年度 加茂市教育委員会表彰式

三月四日、加茂市教育委員会表彰式が行われました。

表彰式では、教育文化の発展などに寄与された皆さんへ、教育委員長から表彰状と記念品が贈られました。

加茂市教育委員会表彰式



「教育文化功労」
井上亜機雄（60）赤谷。公民館運営審議会委員として十年以上。
「文化功労」
田村幸世（79）矢立。教育委員会に図書および玩具など貴重な私財を寄付。

人口のうごき

3月1日現在

世帯	9,893 (-6)
人口	33,016 (-16)
男	15,979 (-3)
女	17,037 (-13)
()内は前月比	
(2月異動分)	
出生	14(男5女9)
死亡	31(男13女18)
転出	33
転入	34